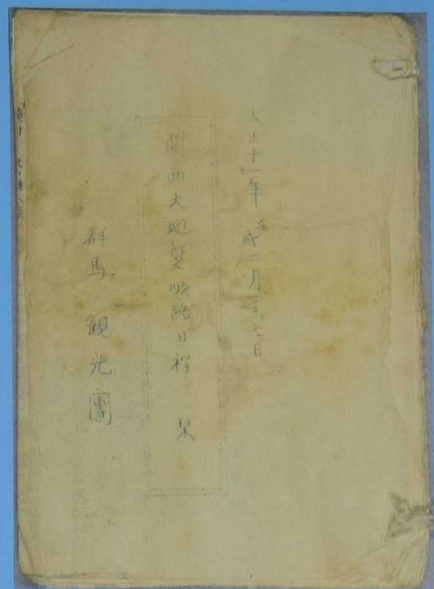


参詣のしおり

関西名所旧跡巡りのしおりです。冊子を編集した福山乗道は、おもに群馬県で活動していた寺僧で、奥之院行法師なども務めました。

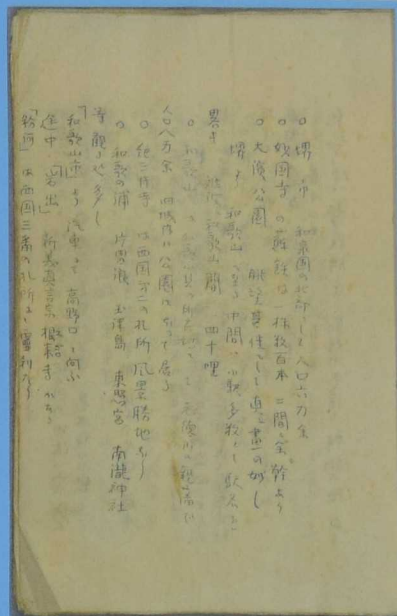
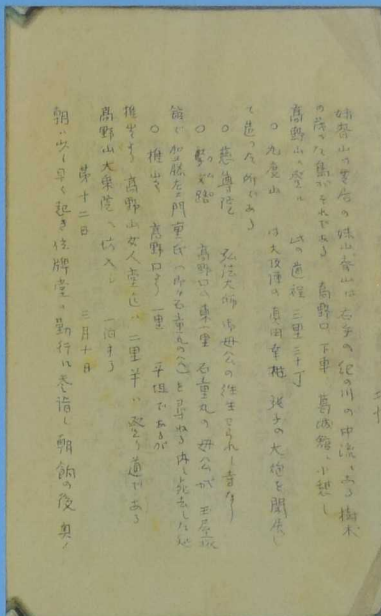
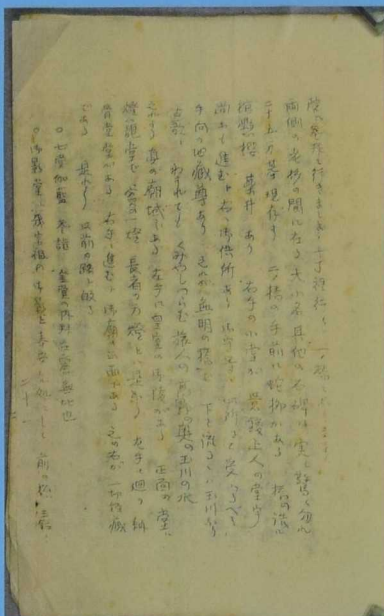
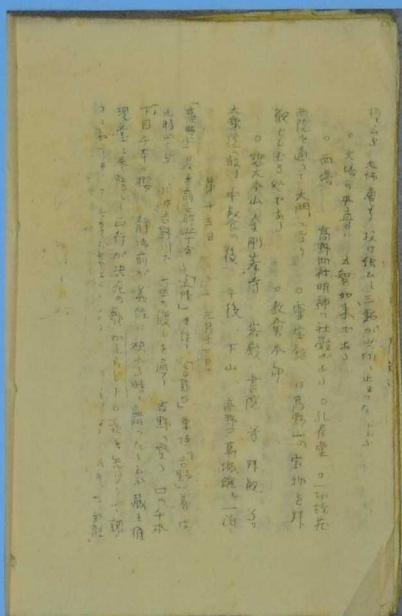
大正 11 年（1922）2 月 27 日に群馬県高崎駅を出発して、長野→新潟→滋賀→京都→大阪→岡山→香川と巡り、広島で折り返して大阪に戻り、和歌山→奈良→三重→愛知→静岡に至るもので、当時の旅行のようすや見どころとされた場所がわかります。

旅程 11 日目の 3 月 9 日に、難波駅から南海電車に乗って和歌山県へ向かっています。和歌山市周辺と、和歌山市駅・高野口間、ついで高野山の名所旧跡について詳述しており、和歌山巡遊において高野山は外すことができない場所でした。



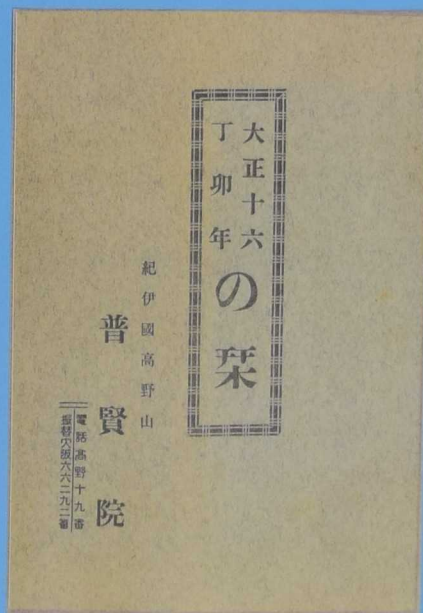
文書番号 1966

関西大廻覧順路日程 葉 大正 11 年（1922）2 月 27 日
作成：群馬観光団／福山乗道編



高野山別格本山の普賢院が大正 15 年（1926）に作成した冊子です。普賢院は大治年間（1126～1131）の開基と伝わり、何度も火災に遭いながらも現在に続く寺院・宿坊です。

恒例法会、星祭（本命星〔個人に定められた、北斗七星のうちのひとつの星〕などを祀り一年の災難を避ける行事）、参詣案内、大正 16 年の暦などを掲載しています。参詣案内では、電車の開通や、駅の開業に伴い交通の便がよくなるなど、以前より高野山参詣が容易となった点を強調しています。



文書番号 5317

大正十六丁卯年の葉 大正 15 年（1926）11 月 10 日
作成：編集者和歌山県伊都郡高野山普賢院執事

